

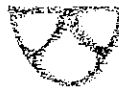
報告第22号

令和2年度公益財団法人宇治市文化センター経営評価の報告
について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条
第1項の規定に基づき、令和2年度公益財団法人宇治市文化センタ
ー経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和3年9月16日提出

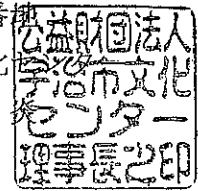
宇治市長 松 村 淳 子



3公財宇文第89号
令和3年6月30日

宇治市長 松村 淳子 様

所在地 宇治市折居台一丁目1番地
法人名 公益財団法人宇治市文化
代表者名 理事長 土屋



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	公益財団法人宇治市文化センター	設立年月日	昭和59年9月1日
公益財団法人への移行年月日			平成23年4月1日
基本財産	10,000千円 (移行前 10,000千円 うち市出えん・出資金 10,000千円 出資比率100%)		
設立目的	すぐれた文化、芸術を企画、公開し、並びに市民の文化活動の育成を図り、もって市民の文化、芸術の普及向上に努め、広く市民文化の振興に寄与する。		

2. 役職員の状況

		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	14	3	2	14	3	2	14	3	2
職員	管理職	2	0	2	2	0	2	2	0	2
	一般職	6	0	1	6	0	2	6	0	2
	計	8	0	3	8	0	4	8	0	4

*役員と職員の兼務は重複して計上している。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
公演等開催事業	舞台芸術公演及び映画上映会等の開催〈自主文化事業〉
文化会館運営事業 (貸館事業)	文化芸術活動等に対する文化会館の施設・設備の提供 市内文化芸術活動団体に対する文化会館使用料の助成〈自主文化事業〉
文化センター施設 管理事業	文化センターの施設・設備の保守・保全

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
収 益	147,423,116	145,057,404	142,874,167
収益事業収益等	9,573,429	7,825,465	7,057,326
市 支 出 金	137,849,687	137,231,939	135,816,841
人 件 費	39,334,136	39,642,989	38,943,242
事 業 費	98,515,551	97,588,950	96,873,599
費 用	147,423,116	145,057,404	142,874,167
人 件 費	39,334,136	39,642,989	38,943,242
事 業 費	108,088,980	105,414,415	103,930,925
当期経常増減額	0	0	0
当期正味財産増減額	0	0	0
期末正味財産合計額	10,000,000	10,000,000	10,000,000

2) 貸借対照表

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
資産合計	42,622,089	40,831,549	41,933,721
流動資産	13,636,341	11,309,779	12,644,914
固定資産	28,985,748	29,521,770	29,288,807
負債合計	32,622,089	30,831,549	31,933,721
流動負債	13,636,341	11,309,779	12,644,914
固定負債	18,985,748	19,521,770	19,288,807
正味財産合計	10,000,000	10,000,000	10,000,000
基本財産	10,000,000	10,000,000	10,000,000
その他正味財産	0	0	0

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	平成元年度	令和 2 年度
補 助 金	46,439,723	45,373,065	43,296,867
委 託 料	91,409,964	91,858,874	92,519,974
その他(分担金等)	0	0	0
計	137,849,687	137,231,939	135,816,841
貸 付 金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
人件費比率	人件費計÷費用計	26.7%	27.3%	27.3%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	23.5%	24.5%	23.8%
流動比率	流動資産÷流動負債	100%	100%	100%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	- %	- %	- %

5. 経営評価 (法人自己評価)

視点	評価	コメント
目的適合性	A	<p>文化芸術の振興を主目的とする宇治市出資法人として、文化会館自主文化事業（公演等開催事業、文化会館使用料助成事業）を積極的に推進し、市民の文化芸術の普及向上に努めるとともに、宇治市文化会館の指定管理者として、市民の文化芸術活動をはじめ施設利用者の催物・諸活動の円滑な実現と施設・設備の保守保全に努め、法人の目的である「市民文化の振興」に適合した事業活動に取り組むことができた。</p> <p>なお、事業活動の実施にあたっては「宇治市文化会館新型コロナウイルス感染防止対策」を作成し、利用者・関係者にマスクの着用、手指消毒、検温などの基本的感染防止対策をはじめ利用人数の制限や施設の換気、人と人との間隔を確保した会場運営などの感染防止対策を要請するとともに、施設・設備の日常消毒、感染防止対策貸与物品の準備などに取り組み、感染症対策に万全を期した。また、公演等開催事業については中止公演に係る代替公演の選定や中止した宇治シネマ劇場上映作品の振替上映を行うなど、新型コロナウイルス感染症に伴い文化芸術活動が停止しないよう努めた。</p> <p>(1) 公演等開催事業</p> <p>宇治市補助金、京都府補助委託金、芸術文化振興基金助成金及び企業協賛金の交付を受け、次の事業区分により文化芸術の参加・鑑賞機会を提供した。</p> <p>□ 鑑賞機会提供事業</p> <p>舞台芸術公演 2 件（音楽、芸能）、宇治シネマ劇場 9 件を開催し、市民をはじめ広く文化芸術の鑑賞機会を提供した。</p> <p>宇治シネマ劇場では、クールスポット企画としてワンコイン上映会に取り組むとともに、引き続き、鑑賞カード（5 回鑑賞で次回無料）を発行して集客増員に努めた。</p> <p>❖ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため</p> <p>舞台芸術公演 2 件中止、宇治シネマ劇場 3 件中止</p> <p>❖ 宇治シネマ劇場目標入場者数は、新型コロナウイルス感染拡</p>

大防止に伴う外出自粛の影響もあって達成することができなかった。

□ 参加創造事業

地域に根ざした文化芸術の振興に努めるため「源氏物語朗読劇講座」を開催し、市内の小中学生に文化芸術の参加創造機会を提供するとともに、宇治市文化会館の特色ある取り組みを広く発信した。

❖ 講座では、市内小中学生 14 人が参加し「宇治っ子朗読劇団☆ Genji」を結成して、宇治に関わりの深い古典「源氏物語」を題材にしたワークショップ型公演に取り組み、宇治市の文化資源を次世代に伝えるとともに、市内のマンドリンアンサンブルの協力を得て定例公演を開催した。

❖ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

市民参加型公演 1 件中止、ワークショップ型公演 1 件中止

□ 普及啓発事業

宇治市、宇治市芸術文化協会との共催事業である「宇治市民文化芸術祭」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(2) 文化会館使用料助成事業

宇治市文化事業基金を活用して、文化芸術の普及向上に寄与する市内の 6 団体に文化会館使用料助成金を交付し、市民の文化芸術活動の育成・促進に努めるとともに、当該事業を通じて文化芸術の鑑賞機会を創出した。

❖ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

交付決定事業 11 件中止

(3) 文化会館運営事業

利用担当者制（同じ職員が打合せから利用終了まで一貫したサポートを行う仕組み）の導入などによりコーディネート機能の向上を図り、利用者の催物・諸活動の円滑な実現に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う催物・諸活動の中止や規模縮小により、施設利用は前年度実績を大きく下回った。

〈施設利用実績〉

□ 年間利用日数

大ホール・・・・・・・・ 73 日（前年度 112 日）

小ホール・・・・・・・・ 66 日（前年度 142 日）

ホール全体・・・・・・・・ 102 日（前年度 186 日）

関連施設全体・・・・・・・・ 188 日（前年度 274 日）

□ 年間利用人数

25,272 人（前年度 126,153 人）

□ 年間利用率

大ホール・・・・・・・・ 29%（前年度 37%）

		<p>小ホール・・・・・・・・・・ 26% (前年度47%) ホール全体・・・・・・・・・・ 40% (前年度61%) 関連施設全体・・・・・・・・・・ 70% (前年度86%)</p> <p>(4) 文化センター施設管理事業 業務仕様書に基づき、文化センター全館の清掃、保安警備及び電気機械設備、消防設備の保守管理を実施するとともに、迅速かつ計画的に修繕等に取り組み、施設機能の保守保全と施設の安全・快適性の保持に努めた。</p>
効率性	A	<p>業務内容の精査や業務の工夫改善により効率的な事業活動に取り組むことができた。</p> <p>(1) 公演等開催事業 鑑賞機会提供事業の運営にあたっては、引き続きリスク負担の少ない共催型公演を中心に取り組み、少額費用で文化芸術の鑑賞機会を提供した。</p> <p>(2) 文化会館運営事業 夜間利用管理体制の縮小など効率的な勤務シフトの工夫により、引き続き職員の休暇確保と時間外勤務の縮減に努めた。</p> <p>(3) 文化センター施設管理事業 施設機能の保全と施設の安全快適性を優先して計画的に修繕等を実施するとともに、予算の範囲内において契約電力を増量(560kw→600kw)し、施設利用に対応した電力供給の安定に努めた。</p>
組織運営健全性	A	<p>関係法令及び定款並びに財団の諸規程に従い健全な組織運営に取り組むことができた。</p> <p>(1) 評議員会・理事会・委員会の運営 関係法令及び定款に従い評議員会、理事会を運営するとともに、引き続き外部からの有識者を含めた「自主文化事業選定委員会」及び「文化会館使用料助成審査委員会」を設置して文化会館自主文化事業の適正・円滑な運営に努めた。</p> <p>(2) 事務局の運営 新型コロナウイルス感染症の影響により関係研修会の大半が中止になったが、職場会議や訓練等を通じて職員の利用相談機能の向上、専門的事務の適正処理、非常時対応力の向上に努めるとともに、引き続き、業務運営マニュアルの整備に取り組み安定した事務の確立と業務の計画推進や工夫改善に向けた職員の意識向上に努めた。</p> <p>また、施設の利用状況に合わせて職員の勤務シフトを可能な限り調整し利用者サービスの向上に努めた。</p>

<p>財務健全性</p>	<p>B</p>	<p>業務の工夫改善とともに新たな自主収益金の確保、経常費用の見直しを積極的に推進し、良好な財務運営に取り組むことができたが、今後の継続性から安定した財務状況にはなく、安定した自主収益金の確保や経常費用の見直しに向けた一層の取り組みが必要である。</p> <p>(1) 公演等開催事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に伴う入場制限や外出自粛等により事業資金である入場料収益（主催型）、入場券販売手数料収益（共催型）及び飲料自動販売機など利便設備の設置に係る手数料収益は計画を大きく下回ったが、新規補助制度や企業協賛金の採択により必要な事業資金を確保することができた。</p> <p>一方で主要な事業資金になっている関係補助制度については数年度にわたり採択を受けている制度もあることから、今後の継続性に懸念があり、現状の財務状況は良好ではあるが安定した状況にはなく、新たな事業資金の開拓など安定した自主収益金の確保が大きな課題である。</p> <p>(2) 文化センター施設管理事業</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用取消などにより不用額が発生した光熱水料費を活用して修繕等を積極的に実施し、施設・設備の保守保全に努めた。</p>
<p>総合評価</p>	<p>B</p>	<p>令和2年度の事業活動は法人の設置目的に適合し、健全な組織運営・財務運営に努めるとともに、事業活動の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して取り組んだが、引き続き文化会館の新規利用や平日利用を促進する有効な取り組みの検討、安定した自主収益金の確保及び経常費用の見直しに向けた一層の取り組みが必要である。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う文化会館自主文化事業の中止や施設利用者の催物・諸活動の中止・規模縮小により、事業成果は前年度実績を大きく下回った。</p>

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い